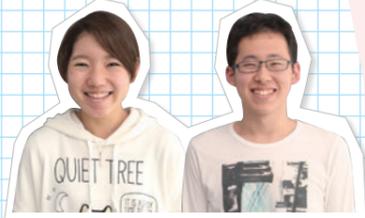




学生に聞きました！  
講義・大学について

**宮里 璃奈さん(左)**  
薬学部 薬学科 2年生  
私は自分の考えを言葉にして表すということが苦手で、中々ディスカッションの機会がなかったのですが、この講義では自然と言葉にすることができるようになりました。先生がとても親切で、理解の進捗状況を確認しながら丁寧に教えてくださるので、成果を実感できます。

**田村 隆一郎さん(右)**  
薬学部 薬学科 2年生  
この講義のいいところは、仲間とのコミュニケーションです。総合医療は協調性が重要だと思うので、ためにも有意義な講義だと思います。先生方はとても気さくで質問もしやすいです。少しでも疑問があればすぐに聞きに行けるので、とてもありがたい環境です。



**先生のご紹介**

こいぬま まさよし  
**濃沼 政美先生**

帝京平成大学 薬学部薬学科 教授  
昭和大学大学院薬学専攻博士前期課程修了。日本医科大学付属病院 薬務部主任、昭和大学薬学部 薬品分析化学教室、日本大学薬学部 薬事管理学研究室、日本大学薬学部 薬理薬学系 病態薬理研究室、日本大学薬学部薬科専攻教授を経て現職。所属学会 日本医療薬学会(代議員、認定試験委員)、日本薬学会(会審委員会アドバイザー)、日本社会薬学会、日本東洋医学会、日本医療薬理学会、日本臨床薬理学会(薬業連携委員会アドバイザー)、日本病院薬剤師会、東京都病院薬剤師会(臨床試験推進委員)、神奈川県病院薬剤師会(特別委員)、日本静脈経路栄養学会、認定NPO法人セルフレディケーション推進協議会(理事)、東京都病院薬剤師会(病棟業務推進委員)

# 帝京平成大学

<中野キャンパス>  
〒164-8530 東京都中野区中野4-21-2  
<お問い合わせ>  
入試相談 ☎0120-918-392  
HP: <http://www.thu.ac.jp/>

学部	[沿革]
薬学部	昭和61年12月 学校法人帝京技術科学学園設立
現代ライフ学部	昭和62年 4月 帝京技術科学学園開学。情報学部開設
ヒューマンケア学部	平成7年 4月 学校法人帝京技術科学学園を学校法人帝京平成大学へ名称変更
健康メディカル学部	平成14年 4月 帝京平成大学健康メディカル学部開設
健康医療スポーツ学部	平成16年 4月 帝京平成大学薬学部開設 平成17年 4月 帝京平成大学ヒューマンケア学部開設 平成20年 4月 帝京平成大学情報学部を現代ライフ学部へ改組 平成25年 4月 東京都豊島区に帝京平成大学池袋キャンパス開設 平成29年 4月 帝京平成大学地域医療学部開設 東京都中野区に帝京平成大学中野キャンパス開設 帝京平成大学現代ライフ学部観光経営学科、地域医療学部看護学科、助産別科開設 地域医療学部を健康医療スポーツ学部へ名称変更

## オープンキャンパス情報

オープンキャンパス参加申込み及び資料請求※(事前申込み必須)  
TEL: 0422-23-8155  
PC用: <http://www.postin-net.com/thu/info/>  
携帯用: <http://www.postin-net.com/thu/info/>

- ◆池袋キャンパス  
6月11日(土)、7月10日(日)、8月6日(土)、8月7日(日)、9月4日(日)、10月2日(日)、2017年3月25日(土)
  - ◆中野キャンパス  
6月19日(日)、7月30日(土)、7月31日(日)、8月20日(土)、9月24日(土)、10月9日(日)、2017年3月25日(土)
  - ◆千葉キャンパス・ちはら台キャンパス  
7月10日(日)、8月6日(土)、8月7日(日)、9月25日(日)、10月22日(土)、2017年3月25日(土)
- ※各キャンパスのプログラムなどの詳細は、帝京平成大学のHPをご覧ください。  
<http://www.thu.ac.jp/>

取材担当者より  
帝京平成大学、こんな大学でした！  
平成25年に開校した中野キャンパスは、JR中野駅から徒歩9分という好立地。警察大学の跡地の再開発で、隣は明治大学と早稲田大学があるという、今どきの都心には珍しい大学村となっています。中野四季の森公園と、中野セントラルパークというビジネスタワービルに囲まれたとても洒落なキャンパスでした。

度の順位づけを行う。ディスカッションを覗いてみると、ホワイトボードにさまざまなキーワードが並んでいる。「コンビニ医薬品販売」「ネット販売」「ドラッグストアでの処方箋調剤」「医薬品メーカー」「厚労省」「規制緩和」などなど。「単に考える訓練ではあまり真剣になれないけれど、薬剤師と登録販売者の一般の方の認識など、身近で切実なテーマ

が題材だと考えることができます」と、一人の学生が感想を語ってくれた。先生は問題提起に対して簡単に答えを提示してはならない。講義時間だけで解決策を導ける簡単な問題はなく、薬剤師になるために考え続けなければいけないテーマを扱うのが、この講義なのだ。

**薬剤師をとり巻く現在の医療環境は決して甘くない**  
ビデオを視聴して、問題提起について仲間同士で意見はさまざまだが、学生は「様に真剣な表情で、自分の考えを述べている」「薬剤師にとって現在の医療環境は決して甘くない」というテーマですが、今のうちにその現実を知り、原因とその解決の道筋を学生なりに考えてほしいんです。現状に悔しき

を感じて、それをバネに新たな道を切り開いてもらいたい」と濃沼先生。学生が6年間の学びを終え、薬剤師となり社会へ出たとき、さまざまな困難や矛盾に直面する。そのときこそ今日の講義で学んだことが役に立つはずだ。「この講義の最初の時の学生たちの自己診断と、全15講終了た

ときの自己診断を見ると、その成長は目をみはるものがあります。我々も学生と共に楽しく厳しく学んだ結果ですから、大きな醍醐味を感じます」。この講義は薬剤師を育てるだけでなく、人間として社会へ大きな貢献をするこの意義を知り、医薬と医療の将来をしっかりと考える人を育てていく。それがこのフレッシュセミナーIIAの目指すところだ。



# 帝京平成大学 薬学部 薬学科

4.16.Mon. at Nakanoキャンパス  
12:45~16:00

## 本日の講義 フレッシュセミナーIIA

**講義の流れ** 現代社会において薬剤師をとりまく医療環境の実態を理解する。問題提起を端緒に、その問題の原因、現状、解決策をディスカッションで考察。

**醍醐味** 医薬分業における薬剤師の役割とその変化を学び、現在の日本の医薬品販売制度における薬剤師にとっての厳しい現実を実感。そのような状況で薬剤師としてどのように社会貢献できるかを学ぶ。



**再現VTRから  
薬剤師をとりまく状況を学ぶ**  
広い教室に、薬剤師を目指す学生が続々と集まってくる。その数、約240人。今回紹介するのは薬学部薬学科のフレッシュセミナーIIAの講義。これは薬学部の5名の先生の共同で行われる全15講のセミナーである。5人の先生は荒

川一郎先生、濃沼政美先生、鈴木政雄先生、中村均先生、百賢二先生というメンバーで、今回の講義は濃沼先生が担当する。教壇の左右にスクリーン、教室の天井から4枚の大型モニターが登場し、3分弱の課題VTRの視聴から講義は始まった。今回使用したビデオは、この講義のために複数のシナリオを

### 薬剤師でなくても販売できる医薬品

考察の途中、一人の学生が「もうこれ以上何も思い浮かばない……」とつぶやいた。すると絶妙なタイミングで「ビデオについてコメントしましょう」と壇上から濃沼先生が声をかけ、考察のヒントを解説し始めた。「このビデオに薬剤師と登録販売者が出てき

ます。登録販売者は通信教育で勉強すれば取ることができる資格です。一方、薬剤師は6年間みっちり大学で勉強し、実地の経験を経て初めて資格をとることが出来ます。しかしビデオの中には一般の女性にとって、登録販売者と薬剤師は同等の認識です。この点に

ついて、何か疑問はありませんか」と、医薬品販売と薬剤師の社会状況の問題を提起した。この後学生は各班に別れ、スマートフォンでディスカッションにより深く考察を進めていく。このディスカッションでは、特性要因図を班で作成し、さらに要因の重要

違った角度から作られている。学生はこのビデオの中から、医薬品販売の問題点を抜き出し、特定要因図を作成するのが課題だ。ビデオに登場する主なキーワードは「ぎっくり腰」「頭痛」「薬局」「登録販売者」「資格」など。学生は各々一人で考察をスタートする。

# 現代の医薬品販売に課題あり!? 未来の薬剤師像を探る